

金沢 泉鏡 花フェスティバル

2022

泉鏡花文学賞制定50周年記念 金沢・鏡花ワーク

報告書

令和4年 10月19日(水)～23日(日) 開催場所:金沢市民芸術村 ほか

主催:金沢泉鏡花フェスティバル委員会 共催:金沢市 特別協力:北國新聞社 お問い合わせ:金沢泉鏡花フェスティバル委員会事務局(金沢市文化政策課内)

画 山科理絵「逢魔ガ時」

目 次

概 要	1
授賞式	2~3
第50回泉鏡花文学賞	
第50回泉鏡花記念金沢市民文学賞	
第6回泉鏡花記念金沢戯曲大賞	
文芸フォーラム	4~5
演劇公演 泉鏡花記念金沢戯曲大賞公演『水向茶碗』	6~7
劇団唐組公演『改訂の巻 秘密の花園』	8
鏡花記念茶会	9
鏡花の部屋／金沢市民芸術村 3工房合同企画	10~13
出張金沢文芸館	
体感！高野聖の映像屋敷	
現代散楽 in 金沢泉鏡花フェスティバル2022	
鏡花や舞台を九九九倍楽しむためのトーク	
音魂2022 in 3工房合同企画「秋の幻想樂」	
フェスティバル関連・協賛イベント	14
フェスティバル広報記録	15~16
金沢泉鏡花フェスティバル委員会 委員等名簿	17

泉鏡花文学賞制定50周年記念 金沢・鏡花ウイーク 金沢泉鏡花フェスティバル2022

金沢泉鏡花フェスティバルは、平成4年に泉鏡花文学賞制定20周年を記念し開催して以来、5年に一度開催しています。

50周年の節目を迎える今回のフェスティバルでは、メイン事業である授賞式・文芸フォーラムを核として、金沢市民芸術村の市民ディレクターに「演劇」「音楽」「アート」を通じて多彩な催しを企画していただくことにより、幅広い世代に鏡花を身近に感じていただけたるイベントとなりました。



【開催日時】 令和4年10月19日(水)～23日(日)の5日間

【開催場所】 金沢市民芸術村(金沢市大和町1-1)ほか

【開催内容】

	会場	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)	23日(日)
■鏡花文学賞・戯曲大賞授賞式	パフォーミングスクエア					★
■文芸フォーラム	パフォーミングスクエア			シンポジウム		★
■泉鏡花記念金沢戯曲大賞公演「水向茶碗」	PIT2 ドラマ工房	★	★	★	★	★
■劇団唐組公演「改訂の巻 秘密の花園」	憩いの広場			★	★	
■鏡花記念茶会	里山の家				★	
■出張金沢文芸館	PIT3 オープンスペース					
■体感！高野聖の映像屋敷	PIT5 アート工房					
■現代散楽 in 金沢泉鏡花フェスティバル2022	パフォーミングスクエア			★	★	
■鏡花や舞台を九十九倍楽しむためのトーク	れんが亭				★	★
■音魂2022 in 3工房合同企画「秋の幻想樂」	PIT3 オープンスペース					★

【来場者数】 5日間 計3,707人



鏡花文学賞・戯曲大賞授賞式

10月23日(日)14:00~15:45 パフォーミングスクエア 【入場者数280名】

第50回泉鏡花文学賞

選考委員：五木寛之 村松友視 金井美恵子 嵐山光三郎 山田詠美 綿矢りさ(順不同、敬称略)

推薦委員：秋山稔 金子健樹 香村幸作 小林弘子 藤際子 杉山欣也 砂川公子 中村依子 松岡香 米田満(五十音順、敬称略)

賞：正賞(八稜鏡) 副賞(賞金100万円)

◎作品名 『陽だまりの果て』

著者 大濱普美子(おおはま ふみこ)
フランクフルト在住

発行所 国書刊行会

発行年月日 令和4年(2022)6月23日

著者略歴 昭和33年(1958) 東京都生まれ

慶應義塾大学文学部卒業

平成21年(2009) 『猫の木のある庭』を発表(三田文学)

著書 ほかに『たけこのぞう』、『十四番線上のハレルヤ』



受賞者 大濱普美子 氏



あいさつする村山卓 金沢市長



祝辞を述べる高岩勝人 金沢市議会議長



受賞作について述べる村松友視 氏
(泉鏡花文学賞選考委員)

合唱 金沢カペラ合唱団

「金木犀の匂う道」

作詞／中田敏明
作曲／小椋 佳
編曲／堀内貴晃

「浅野川恋唄」

作詞／五木寛之
作曲／山崎ハコ
編曲／堀内貴晃

指揮：山瀬泰吾 氏
ピアノ：山田ゆかり 氏



第50回泉鏡花記念金沢市民文学賞

選考委員:金沢市および近郊在住の文学関係者および学識経験者の中から委嘱

賞:正賞(八稜鏡) 副賞(賞金30万円)

◎作品名 『こおりとうふ』

著 者 蔵下悦子(やぶした えつこ) 金沢市在住

発行所 聖佳舎

発行年月日 令和4年(2022)7月25日

著 書 ほかに『白い白い夜に』

◎作品名 『姫ヶ生水』

著 者 松村昌子(まつむら まさこ) 能美市在住

発行所 北國新聞社

発行年月日 令和4年(2022)7月31日



受賞者 蔵下悦子 氏



受賞者 松村昌子 氏



受賞作について述べる藏角利幸 氏
(金沢市民文学賞選考委員長)

第6回泉鏡花記念金沢戯曲大賞

選考委員:五木寛之 ふじたあさや 鴻上尚史(順不同、敬称略)

賞:大賞(賞金100万円) 佳作(賞金10万円) 審査員奨励賞(賞金5万円)

●大賞

作品名 『水向茶碗』

作 者 武石最中(たけいし もなか) 富士見市在住

作者略歴 昭和39年(1964) 東京都渋谷区生まれ

平成25年(2013) 劇団マダキマ254 を始動

平成30年(2018) シナリオセンター入門

現在 シナリオセンター研修科在籍



大賞受賞者 武石最中 氏

●佳作

作品名 『幸せな人形』

作 者 辻本久美子(つじもとくみこ) 京都市在住

●審査員奨励賞

作品名 『君と出会えるその日まで』

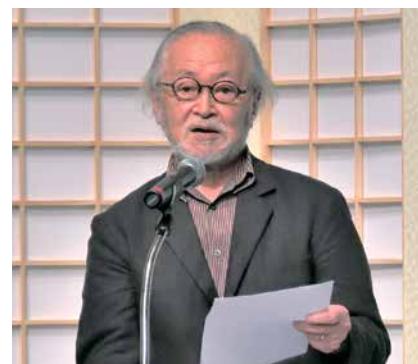
作 者 萩谷至史(はぎや よしふみ) 三鷹市在住



佳作受賞者 辻本久美子 氏



審査員奨励賞受賞者 萩谷至史 氏



受賞作について述べるふじたあさや 氏
(金沢戯曲大賞選考委員)

文芸フォーラム

10月23日(日) 15:55~17:30 パフォーミングスクエア 【入場者数280名】

鏡花文学賞功労賞贈呈



秋山稔 氏 (泉鏡花文学賞推薦委員)



金子健樹 氏 (泉鏡花文学賞推薦委員)



米田満 氏 (泉鏡花文学賞推薦委員)

特別講演

「鏡花賞50周年によせて」(メッセージ代読)
「泉鏡花と泉鏡花文学賞」(音声メッセージ)

泉鏡花文学賞選考委員
泉鏡花文学賞選考委員

五木 寛之 氏
金井美恵子 氏

朗読

「照葉狂言」 泉鏡花 作



朗読：高輪真知子 氏 (朗読小屋浅野川倶楽部)



笛：藤舎良月 氏 (主計町まゆ月)



シンポジウム 「鏡花文学賞の今とこれから」



【パネリスト】



村松友視 氏

(むらまつ ともみ)

東京都生まれ。慶應義塾大学卒業。中央公論社編集部を経て作家となり、『時代屋の女房』で第87回直木賞を受賞。『鎌倉のおばさん』で第25回泉鏡花文学賞を受賞。著書に『私、プロレスの味方です』、『幸田文のマッチ箱』『百合子さんは何色』、『アプサン物語』、『俵屋の不思議』、『老人のライセンス』、『アリと猪木のものがたり』『ゆれる階』など多数。泉鏡花文学賞選考委員。



嵐山光三郎 氏

(あらしやま こうざぶろう)

静岡県生まれ。平凡社「太陽」編集長を経て独立、執筆活動に専念する。『素人庖丁記』により講談社エッセイ賞受賞。『芭蕉の誘惑』によりJTB紀行文学大賞、『悪党芭蕉』により、第34回泉鏡花文学賞、読売文学賞をダブル受賞。著書に、『追悼の達人』、『文人悪食』、『漂流怪人・きだみのる』、『枯れてたまるか!』、『芭蕉という修羅』、『超訳 芭蕉百句』など多数。泉鏡花文学賞選考委員。



山田詠美 氏

(やまだ えいみ)

東京都生まれ。「ベッドタイムアイズ」で第22回文藝賞を受賞しデビュー。『ソウル・ミュージック・ラバーズ・オンライン』で第97回直木賞、『風葬の教室』で第17回平林たい子文学賞、「トラッシュ」で第30回女流文学賞、『アニマル・ロジック』で第24回泉鏡花文学賞、「AZZ」で第52回読売文学賞、「風味絶佳」で第41回谷崎潤一郎賞、「ジェントルマン」で第65回野間文芸賞、「生鮮でてるる坊主」で第42回川端康成文学賞を受賞。著書に『放課後の音符』、「ぼくは勉強ができない」、「無錢優雅」、「学問」、「賢者の愛」など多数。泉鏡花文学賞選考委員。



藏角利幸 氏

(くらかど としゆき)

石川県生まれ。富山大学卒業。北陸放送株式会社報道部長、金沢ケーブルテレビ放送株式会社常務取締役、金沢学院短期大学教授を経て、現在、石川郷土史学会会長、金沢学院短期大学名誉教授。著書に、『加賀の俳人河合見風』、『石川県立図書館蔵 影印元禄俳書「西の雲」「桂姿」「其法師』』(編著)、『新版 近世文学研究事典』(執筆)、『室生犀星事典』(執筆)など。金沢市民文学賞選考委員長。

【コーディネーター】



秋山稔 氏

(あきやま みのる)

千葉県生まれ。慶應義塾大学卒業。都立高校教諭、金沢女子大学講師、金沢学院大学文学部学部長を経て、現在、金沢学院大学学長・理事長。日本近代文学専攻(泉鏡花を中心に研究をすすめる)。博士(文学)。著書に、『泉鏡花転成する物語』、『百年小説の愉しみ』、『新編 泉鏡花集』(全十二巻、共編)、『泉鏡花俳句集』(編著)など。泉鏡花文学賞推薦委員、泉鏡花フェスティバル委員会委員長および泉鏡花記念館館長。

演劇公演 泉鏡花記念金沢戯曲大賞公演「水向茶碗 あなたはここにいます」

PIT2ドラマ工房 【入場者数468名】

19日(水)19:00~、20日(木)19:00~、22日(土)11:30~／17:00~、23日(日)11:30~

あらすじ

大正9年、泉鏡花邸宅。筆が進まぬ鏡花に、小村雪岱や妻のすず、女中のお洋が寄り添う中、鏡花はある日、師匠である尾崎紅葉の墓参りに行く。その帰りにふと立ち寄った時計店で出会ったのは、時計職工見習いの楳野だった。鏡花は、楳野と交流を重ねていくが…。(鏡花の人物像に関する作品)

作 武石最中

演出・構成 島貴之

企画制作 金沢戯曲大賞上演委員会

キャスト

金山古都美(演劇ユニットK-CAT)

金代晶(Coffeeジョキャニーニヤ)

建蔵

珠実(劇団ドリームチョップ)

泉司

高野春樹(SQUAD Management)

奈良井伸子

西村優太朗(Theater I-O)

西本浩明(演芸列車「東西本線」)

吉田莉芭(演劇ユニットK-CAT)

宝栄美希(ほうえい みき/Miki Hoei)

山田勝文

高屋朱音

殿城比奈子

スタッフ

フィジカルディレクター 山田洋平

サウンドデザイナー Yukari Kawada

舞台美術 杉浦充

舞台監督 野崎信之

舞台監督補佐 長山裕紀(Geki-Do-Labo.c)

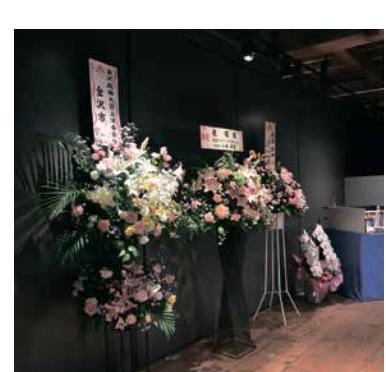
照明 宮向隆

グラフィックデザイナー 砂原久美子(石引パブリック)

フォトグラファー 北山浩士(キミノスタジオ)

制作・演出助手 梨瑳子

総合監修 鳴海康平(第七劇場)



BUTAI de シンポジウム 【入場者数30人】

21日(金) 17:00~19:00

さまざまな視点を持つ違ったジャンルで活躍する人々が集まって、これから金沢や石川県、劇場という空間などについて意見を交わしました。



「水向茶碗」演出 島貴之 氏



演劇ライター 大堀久美子 氏



「水向茶碗」フィジカルディレクター
山田洋平 氏



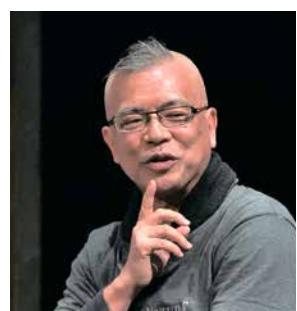
起業家 林俊伍 氏



金沢市民芸術村総合ディレクター
黒澤伸 氏



劇団ドリームチョップ
井口時次郎 氏



劇団 110SHOW 高田伸一 氏

演劇公演

劇団唐組公演「改訂の巻 秘密の花園」

憩いの広場 特設紅テント 【入場者数301名】

21日(金)19:00~、22日(土)19:00~

前回のフェスティバルから5年ぶりとなる今回の金沢公演。泉鏡花文学賞の受賞者でもある唐十郎氏が泉鏡花作品「龍潭譚」に着想を得た「秘密の花園」に改訂を加え、恒例の紅テントで上演されました。

あらすじ

日暮里駅の一本のうるしの木。それにかぶれてしまった青年アキヨシとその想いの相手となっている一葉。その夫である大貫との三者三様の愛が、日暮里の坂をめぐり繰り広げられる。それらの人々をとり巻く、町の人々、輩、殿と呼ばれる町の有力者などなど。無さそで有りそな摩訶不思議な「町の営み」が果てしなく続く。この三年、町からは日常が遠ざかり、「しょうがない、しょうがない」と営みの有り様を変え続けている。その一言とともに、移り変わりを受け入れてしまうことへの怖さはないのか。失ってしまいもう戻れなくなることへの恐ろしさは・・・。」

作:唐十郎

演出:久保井研+唐十郎

役者陣:久保井研、稲荷卓央、藤井由紀、福原由加里、加藤野奈、大鶴美仁音、重村大介、栗田千亜希、

升田愛、藤森宗、松本遼平、西間木美希、工藤梨子、金子望乃、壺阪麻里子、全原徳和、友寄有司、岩田陽彦、中村健



鏡花記念茶会～鏡花と白山信仰～

里山の家 【入場者数52名】

22日(土) ①10:00 ②11:00 ③12:00 ④13:00 ⑤14:00

金沢を代表する文化の一つである「茶の湯」を通して泉鏡花の世界により多くの方に親しんでいただくことを目的とし、鏡花の中にある「白山信仰」を主題に、鏡花作品にちなんだ茶道具を使用し、一服を楽しみながら、鏡花の幻想的な世界観に触れていただきました。

席主 上田正行（金沢大学名誉教授）

協力 石川県茶道協会、大島宗翠社中（裏千家）

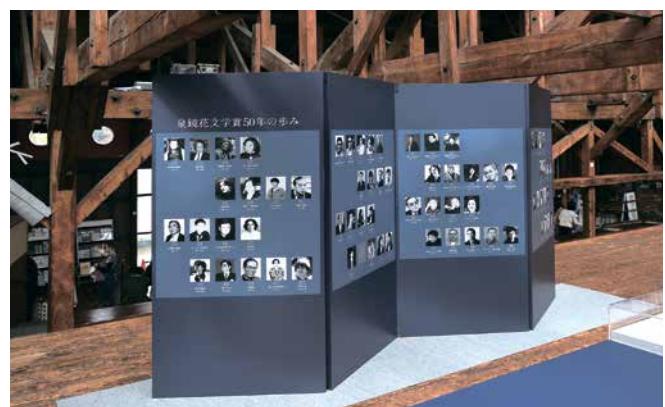


鏡花の部屋 I 出張金沢文芸館「泉鏡花文学賞50年の歩み」

PIT3オープンスペース 【入場者数1,185名】

19日(水)～23日(日)

地元文芸活動の拠点であり、五木寛之氏の全著作品や愛用品、泉鏡花文学賞および泉鏡花記念金沢市民文学賞の歴代受賞作品等を展示している金沢文芸館を紹介するとともに、泉鏡花文学賞50年分の受賞者をパネルで紹介し、受賞作品の展示を行いました。



鏡花の部屋Ⅱ／金沢市民芸術村3工房合同企画 体感！高野聖の映像屋敷

PIT5アート工房 【入場者数435名】

19日(水)～23日(日) 13:00～17:00(23日は15:00まで)

舞踏家が高野聖の登場人物や出来事について踊る映像、高野聖の小説を元にした朗読、独特的な重層的情景を表現する音響。泉鏡花が高野聖で試みた「複数の語りを重ねることで出来事や情景が非現実的な幻想を帯びる」という構造を、光・踊り・朗読・音という様々な表現の混じり合いとして直接体感していただきました。

企画・担当 金沢市民芸術村アート工房ディレクター 宮崎竜成・モンデンエミコ



鏡花の部屋Ⅲ 現代散楽 in 金沢泉鏡花フェスティバル2022

パフォーミングスクエア 【入場者数222名】

21日(金)18:30~/22日(土)13:00~

奈良時代に栄えた幻の芸能を考証、蘇らせた「現代散楽」。古今東西の楽器が奏でる新たなシルクロード音楽、超絶技巧のジャグリング、練達の語りと映像、照明演出が渾然一体となる舞台で、泉鏡花作品『蓑谷(みのだに)』の幻想的な世界を楽しんでいただきました。

企画・制作統括 金沢市民芸術村ミュージック工房ディレクター 太田浩一・中埜忠紀

出演:

太田 豊〈笛・サックス・久乗編鐘〉

豊 剛秋〈笙・バイオリン〉

大平 清〈サズ〉

坂本 雅幸〈和太鼓〉

林 恒宏〈語り〉

森田 智博〈ジャグリング〉

スペシャルゲスト:

高 雄飛〈ピアノ〉

般若佳子〈ヴィオラ〉

角口圭都〈サックス〉



金沢市民芸術村3工房合同企画

鏡花や舞台を九九九倍楽しむためのトーク 【入場者数14名】

れんが亭

22日(土)19:00頃～／23日(日)13:30頃～（戯曲大賞上演後に開催）

「水向茶碗」を観劇後、劇評家や泉鏡花の専門家を「鏡花案内人」として迎え、泉鏡花に関する話や「水向茶碗」などの見所・楽しみ方を和気あいあいと語り合い、舞台をより深く、広く楽しんでもらうきっかけの場となりました。

◎鏡花案内人 トークゲスト：

22日 佐々木 敦（著述家）× 秋山 稔（泉鏡花記念館 館長）

23日 山崎健太（劇評家）× 水洞幸夫（室生犀星記念館 館長）

企画 金沢市民芸術村ドラマ工房ディレクター 竹下実季子・東川清文



音魂2022 in 3工房合同企画「秋の幻想樂」 【入場者数720名】

PIT3オープンスペース

23日(日)14:00～

地元で活動、活躍し、芸術村を活動拠点としている8団体が鏡花をテーマに会場に集い、泉鏡花をイメージする曲、泉鏡花にちなんだ曲を披露しました。

企画 金沢市民芸術村ミュージック工房
ディレクター 太田浩一・中埜忠紀

◎出演団体

金沢シニアルクレオーケストラ

篠笛 うさぎ会

K-WISH（コンテンポラリーゴスペル）

金沢室内管弦楽団

吹奏楽研究会

北陸グレースマスクワイア

Anilla Flamenca CHIE（フラメンコ）

水を編む人々（平原慎士・レジデント・コンサートvol.21）



会場外の催し

フェスティバル関連イベント

(1) 金沢謎旅まちあるき外伝～鏡花の地に秘められし謎～

鏡花ゆかりの地をめぐる謎解きまちあるき

期間:10月1日(土)～23日(日)

謎解きエリア:金沢文芸館、泉鏡花記念館ほか



(2) 日本画家 山科理絵が描く「泉鏡花の世界」ミニ展覧会

メインビジュアル「逢魔ガ時」をはじめ、幻想ものや能楽もの、

美しい女性をモチーフにした繊細で優美な絵画を期間限定で展示

期間:10月7日(金)～23日(日)

会場:金沢文芸館

(3) 映画「草迷宮」特別上映会

泉鏡花作品「草迷宮」を題材とした寺山修司監督作品を特別上映

期間:10月13日(木)～14日(金)

会場:シネモンド

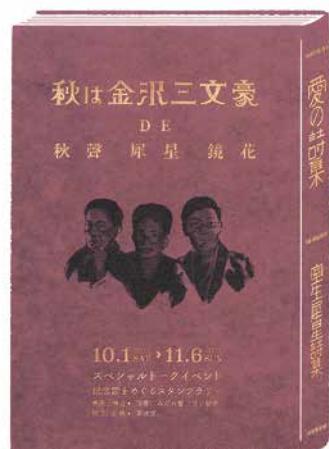
フェスティバル協賛イベント

(1) 泉鏡花記念館企画展「鏡花本一物語る書物の世界」

鏡花作品の初版本等を展示

期間:9月17日(土)～12月18日(日)

会場:泉鏡花記念館



(2) 三文豪月間事業「秋は金沢三文豪」

講演・講座、スタンプラリー、映画上映など各種イベントを開催

期間:10月1日(土)～11月6日(日)

会場:泉鏡花記念館、徳田秋聲記念館、室生犀星記念館ほか

(3) ゴールデン偉人賞—金沢大会—

高峰譲吉、清水誠、泉鏡花…偉人にまつわる演劇公演

日時:10月22日(土)14:00～

会場:金沢ふるさと異人館



(4) 金沢オペラ「滝の白糸」セレクション

泉鏡花の名作「義血侠血」のオペラ公演

日時:11月23日(水・祝)14:00～

会場:金沢歌劇座

(5) 金沢蓄音器館「泉鏡花を聴く」

SPレコード「婦系図絵巻」の鑑賞会

日時:11月26日(土)14:30～

会場:金沢蓄音器館

広報

フェスティバル広告媒体　さまざまな媒体でイベントを告知しました。

【新聞】

- 10/10 金沢市広報「いいね金沢」メイン
10/19 北國新聞 広告1紙(全5段カラー)



【テレビ】

- 10/15 金沢市広報「いいね金沢」(北陸放送)

【ラジオ】

- 9/18 エフエム石川「ピープル&シティ・アイ・ラブ・金沢」
9/22 北陸放送「グッディ金沢」
10/16 エフエム石川「ピープル&シティ・アイ・ラブ・金沢」

【文芸雑誌】

- 文学界、新潮、すばる、群像、小説すばる、小説新潮、小説現代 10月号

【インターネット】

- Twitter、金沢市公式LINEアカウント
ホームページ「文学のまち金沢 鏡花文学賞」内特設サイト
にて随時情報を更新

新聞広告(全5段)



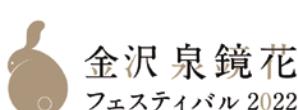
Twitter



ホームページ

その他の取り組み

- ロゴマーク制作
記念品の制作(オリジナル三作せんべい、トートバッグ)



ロゴマーク



記念品

印刷物

【ポスター、チラシ】



ポスター (B2版)



チラシ (A4版)



パンフレット
(A5版三つ折り)



チラシ(授賞式・フォーラム)



(金沢戯曲大賞「水向茶碗」)



(劇団唐組「秘密の花園」)



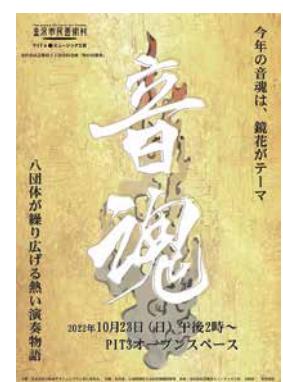
(高野聖の映像屋敷)



(現代散樂)



(九九九倍楽しむためのトーク)



(音魂2022)

<金沢泉鏡花フェスティバル委員会 委員等名簿>

役 職	氏 名	備 考
総合プロデューサー	村山 卓	金沢市長
企画アドバイザー	五木 寛之	泉鏡花文学賞選考委員
顧 問	村松 友視	泉鏡花文学賞選考委員
顧 問	金井美恵子	泉鏡花文学賞選考委員
顧 問	嵐山光三郎	泉鏡花文学賞選考委員
顧 問	山田 詠美	泉鏡花文学賞選考委員
顧 問	綿矢 りさ	泉鏡花文学賞選考委員

役 職	氏 名	備 考
委 員	秋山 稔	泉鏡花文学賞推薦委員代表、金沢学院大学学長、泉鏡花記念館館長
委 員	藏角 利幸	金沢市民文学賞選考委員会委員長
委 員	水洞 幸夫	金沢戯曲大賞推薦委員委員長、金沢学院大学副学長
委 員	清水 隆行	(一財) 石川県芸術文化協会 事務局次長
委 員	端 博史	金沢文芸館館長
委 員	詩丘 樹持	金沢市民芸術村村長
委 員	長谷 進一	(公財) 金沢文化振興財団理事長
委 員	吉田 康敏	(公財) 金沢芸術創造財団理事長
委 員	殿城 珠李	鏡花文学賞学生企画委員会(金沢大学生)
委 員	佐渡 美怜	鏡花文学賞学生企画委員会(金沢大学生)
委 員	倉原みなみ	鏡花文学賞学生企画委員会(金沢学院大学生)
委 員	鈴木 恋奈	鏡花文学賞学生企画委員会(金沢学院大学生)
委 員	広瀬 彩	鏡花文学賞学生企画委員会(金沢学院大学生)
監 事	松本 明	金沢市会計課課長



金沢 泉 鏡 花
フェスティバル 2022